

平成23年度功労者表彰

5月4日春季大会閉会式終了後、船橋市民球場において平成23年度の功労者表彰が行われました。例年、春季市民大会総合開会式後に行われていましたが、今年は東日本大震災の影響で開会式が中止になったため、日にちを変えて行ったものです。

各チームの指導等に10年以上携わった方々23名に船橋市野球協会大沢会長より感謝状が贈呈されました。(受賞者別掲、敬称略)

氏名	所属チーム
北川 恒雄	高郷スタースターズ
市川 啓介	高郷スタースターズ
浅田 憲一	高郷スタースターズ
高階 将仁	高郷スタースターズ
浅野 一浩	みゆきファルコンズ
阿部 一忠	みゆきファルコンズ
村山 公夫	前原サンライズ
清田 靖昭	法典コンドルズ
楯 博幸	法典コンドルズ
石田 敏彦	法典コンドルズ
河端 宏巳	藤上ディアーズ
蒲池 良二	藤上ディアーズ
佐々木 健治	西船ウイングス
新井 鉄也	塚田クラブ
谷口 康晴	夏見台アタックス
唐沢 俊計	金杉台ジュニアスターズ
大河 貫朋	宮本ビーバーズ
河齋 合和	西海ドラゴンズ
齋藤 信孝	西海ドラゴンズ
忍田 國行	西高根ラッキーズ
菊地 敬介	さざんかポニー
石野 晴士	二和タイガース
大川 輝男	大穴ペガサス



また、準決勝で夏見パワーズに敗れ第三位に入賞した法典コンドルを含めた四チームが八月に行われる千葉日報杯への出場が決まりました。

なお、本大会開催に当たり、小室球場、大穴球場、さざんか球場等北部支部を中心とした各チームから球場の提供を受けたことを感謝するとともに報告いたします。



ホームランニュース

<http://www.funabashi-gakudou-baseball.jp>

発行 船橋市野球協会少年学童部

第三四回船橋市春季市民大会 少年学童の部

夏見台アタックス A・Bアベック優勝!

今年度の春季大会は東日本大震災直後と言うことで総合開会式が中止となり、また、高瀬グラウンドが液化化の被害を受け使用出来なかつたため豊富球場をメインに行われました。三回戦まではA・Bリーグを別日程でとし、土曜日も大会を行うなど、例年とは違った形で大会運営をし、ほぼ予定通り日程を消化することができました。

両リーグの決勝戦は五月四日船橋市民球場で行われました。

Bリーグの決勝は、昨年合併し心機一転こまごまで圧倒的な打力で勝ち上がってきた決勝戦初挑戦の藤上ディアーズと試合巧者、夏見台アタックスとに對戦となりました。

試合は四回までに八対二と夏見台が大量リードを奪い、このままおわるかと思われましたが、藤上も本領を発揮五回・六回で八点を取り猛追しましたが一歩及ばず、一二対

一〇で夏見台アタックスが五年ぶりに優勝しました。

夏見台アタックスは十月に予定される日ハム杯千葉県予選に、準優勝の藤上ディアーズ、第三位ツインドルフィンズ、ホワイトビーストロング及び準々決勝で夏見台に敗れた宮本ビーバースの四チームが東武鉄道杯野田線大会に出場することが決まりました。

引き続き行われたAリーグの決勝戦は、前日降雨ノーゲームで再試合となった準決勝戦で西船ウイングスに三対二で競り勝った夏見台アタックスと夏見パワーズの夏見ダービー

となりました。

両チーム先発投手の好投と、バツクの好守備で互いに四回まで一人のランナーしか許さないという好ゲームとなりました。

先攻の夏見パワーズは五回五番の外山君がセンター前ヒットで出塁、二盗後六番田幡君のサードへの強烈な当たりがレフトに転がる間に生還、待望の先取点を取りますが、その裏夏見台アタックスも五番打者切石君のヒットを足掛かりにすかさず同点に。続く六回には相手守備の乱れに乗じて三点を追加し、試合を有利に運びました。

夏見パワーズも七回、

外山君の右中間への二塁打を皮切りに、田幡君、松井君の連続ヒットで一点を返し、なおもノーアウト一塁に塁と攻めましたが後続が打ち取られ、四対二で夏見台アタックスが優勝し、二一年度からの連続優勝を三としました。

また、A・Bアベック優勝は一九年度の習志野台ワンパクス以来四年ぶり五回目となります。

優勝した夏見台アタックスは全日本学童千葉県予選に、また、大会日程が学校行事と重なった準優勝の夏見パワーズに代わり、西船ウイングスが関東学童千葉県大会に出場することになりました。

引き続き行われたAリーグの決勝戦は、前日降雨ノーゲームで再試合となった準決勝戦で西船ウイングスに三対二で競り勝った夏見台アタックスと夏見パワーズの夏見ダービー

となりました。

両チーム先発投手の好投と、バツクの好守備で互いに四回まで一人のランナーしか許さないという好ゲームとなりました。

先攻の夏見パワーズは五回五番の外山君がセンター前ヒットで出塁、二盗後六番田幡君のサードへの強烈な当たりがレフトに転がる間に生還、待望の先取点を取りますが、その裏夏見台アタックスも五番打者切石君のヒットを足掛かりにすかさず同点に。続く六回には相手守備の乱れに乗じて三点を追加し、試合を有利に運びました。

夏見パワーズも七回、

外山君の右中間への二塁打を皮切りに、田幡君、松井君の連続ヒットで一点を返し、なおもノーアウト一塁に塁と攻めましたが後続が打ち取られ、四対二で夏見台アタックスが優勝し、二一年度からの連続優勝を三としました。

また、A・Bアベック優勝は一九年度の習志野台ワンパクス以来四年ぶり五回目となります。

優勝した夏見台アタックスは全日本学童千葉県予選に、また、大会日程が学校行事と重なった準優勝の夏見パワーズに代わり、西船ウイングスが関東学童千葉県大会に出場することになりました。



Bリーグ優勝 夏見台アタックス



Aリーグ優勝 夏見台アタックス

第四回少年少女交歓大会

第四回目となる平成二三年度の少年少女交歓大会は五月一五日船橋運動公園で行われました。

昨年まではこの交歓会に合わせ開催していた「読売さわやか野球教室」は諸般の事情により中止になり、今年は学童部独自でスピードガンとストラックアウトを野球場内で行いました。

スピードガンでは記録を記入したカードを渡し、またストラックアウトではピンゴを完成した子供に景品をプレゼントするなどし、天候にも恵まれ、学童部に所属する子供を中心に大勢の子どもたちが楽しんでいました。

来年はもっと多くのスポーツ関係者が参加してくれることを期待します。



Bリーグ準優勝 藤上ディアーズ



Aリーグ準優勝 夏見パワーズ

速報

七月三日(土)VCマリンフィールドで行われるプロ野球オールスター第一戦で、昨年学童部で活躍した、木澤尚人君(田喜野井ファイターズ)が始球式をやることに決まりました。

東日本大震災義援金受付中

第三三回東葛親善少年野球春季大会

開催地習志野サンデーズが優勝

船橋市での初開催となる第三三回東葛親善少年野球大会は八市一六チームが参加し六月四日豊富球場で開会式が行われました。

船橋市さざんかポニーズ西秋主将が元氣よく選手宣誓し、豊富球場、小室公園球場で初日の熱戦が繰り広げられました。船橋からはさざんかポニーズと習志野サンデーズの二チームが参加しともに一回戦を突破しました。

さざんかポニーズは2回戦で鎌ヶ谷の中部ユニオンズに逆転で負け、惜しくも最終日には進めませんでした。習志野サンデーズは市川の二チームと共に準決勝にコマを進めました。

準決勝・決勝は雨のため一日順延し、一二日豊富球場で行われました。準決勝戦で市川野新井子ども会野球部を下した習志野サンデーズは、鎌ヶ

谷の中部ユニオンズに競り勝った市川野高谷野球部との決勝戦になりました。

序盤大きく五点をリードされたサンデーズは相手投手の乱れで終盤に追いつきサドンデスに持ち込みました。特別延長の表の攻撃サンデーズは一挙五点をとり、相手の反撃を一点に抑え第逆転勝利で地元開催での優勝を飾りました。

東葛春季大会での船橋野優勝は平成五年に習志野サンデーズが優勝して以来一八年ぶりと言うことです。なお、一〇月に市川市で開催される秋季大会には柏市も復帰し、



野田市から浦安市まで東葛地域の全てが参加することになりました。

第二五回 船橋警察署長杯

アタックス六連覇成 らず

第二五回船橋警察署長杯は第二〇回記念大会から続いていたAリーグ夏見台アタックスの優勝が途切れませんでした。しかし、優勝はまたしても南部支部。増田南部支部長の熱のこもったレポートです。
Aリーグは緑台イーグルパワーズ初優勝
Aリーグ決勝結果
夏見100000203
緑台000610X7

Bリーグは夏見台アタックス サヨナラ勝ち
Bリーグ決勝結果
宮本10201105
夏見台20300016

三月一日に発生した東日本大震災は、日常生活を狂わせ、日が立つにつれ被害の大きさも巨大化していく。被災地の住民感情等を量れば量るほど、とても「野球どころではない」と思えた。そんな中、センバツ甲子園大会が開かれ、「生

かされている命に感謝し、全力でプレーする」という感動的な選手宣誓に出会う。そしてそれを実践する選手達の全力疾走に心を動かされた。いつの時代でも、子供達のひたむきな姿こそが人の活力源となる。そのパワーを今もらわないと、大人達が下を向いている場合ではないと…。

今回の大会、様々な方面からたくさんの支援を頂いている。船橋警察署長からは、開催趣旨を大きな心で理解され、より一層の支援を行うと力強い後押しを頂いた。

また、液状化により使用不可能となっていた大会開催予定の高瀬グラウンドの代替地については、学童部と東・北支部長ら、同時期に開催される船橋東警察署長杯の会場である豊富グラウンドの片面を提供して頂いた。

五月下旬、高瀬グラウンドの使用が六月から可能との吉報が入る。これで、準決勝・決勝は南西部の

少年野球の聖地である高瀬で実施できる。

しかし、液状化が及ぼした影響はグラウンドの各所に顔を出していた。準決勝・決勝の当日は梅雨の狭間のようにやく雨の上湖がいくつもでき、最悪の状態。日程はこれ以上ずらす訳にはいかない。決断は皆でグラウンド整備をしようだ。驚くことに、この協力要請に、五〇人以上が集まり、泥だらけの奮闘。朝七時頃から開始し、試合開始にこぎ付けたのはなんと一一時近くであった。

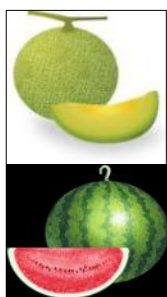
ゲームセット！主審の右手が上がる。同時に、グラウンドの選手、ベンチの選手が一斉にマウンドに駆け上る。顔をクシャクシャにしながら抱き合い、中には涙を出し喜んでいる。緑台イーグルパワーズの初優勝だ。

多くの支えの中で試合の場を与えられた彼らは、一生懸命に全力を尽くすことに励んだ。彼らが行なった全力の姿勢が、この結果を生んだのだ。

この大会を通し、私達は、子供も大人もセンバツの宣誓のとおり「仲間」

とともに支え合いながら、前へ進むことを教えられたと思っ。

「人は仲間に支えられることで、大きな困難を乗り越えることができます」と信じています。私たちに、今、できること。それは精いっぱい元気を出し戦うことです。」
(南部支部長増田隆夫)



第二六回 船橋東警察署長杯

二三年度船橋東警察署長杯東部支部のレポート

優勝は薬円台リトルスター

第二六回東船橋警察署長杯は、五月五日のこの日に豊富グラウンドにて開会式を行いました。坪井バンテツツの清水主将の力強い選手宣誓とても印象に残った。

開会式後の第一試合(習志野台ワンパクズ対小室ライオンズ)は東警察署長の始球式で始まり、大会は、天候に恵まれ準々決勝まで順調にすすみ、ベスト4には、習志野台ワンパクズ、薬円台リトルスター、ツインドルフィンズ、高郷スターズが残った。
大会最終日の六月九日の九時から準決勝・一三時から決勝戦を行った。
高郷スターズ対ツインドルフィンズは、序盤互角の戦いだったが終盤効果的な2本のホームラン(吉野・白田)でツインドルフィンズが突き放し

7対2で逃げ切った。
一方の薬円台リトルスター対習志野台ワンパクズの試合は、三回に1点ずつを取り合い終盤までもつれ、7回表に的場君のホームランで薬円台リトルスターが加点し、七回裏にツィアアウト三塁のピンチをしのいで逃げ切った。

決勝戦は、薬円台リトルスターの出沖君が、遅い球を有効に使い四回を1安打に抑えた。対するツインドルフィンズの吉野君も力強いピッチングで四回を一点に抑え緊迫した試合となった。ラッキーなヒットもあり、六回裏に二点を加点した薬円台リトルスターが、リリーフ中上君の緩急をつけたピッチングでツインドルフィンズの打線を抑え勝利した。

(東部支部長平田 聡)
両署長杯のトーナメント表については、紙面の都合上、次号に掲載する予定です。

支部情報のページ

南部支部各大会の生い立ちについて、宮本ピーバース代表荒井義一さんが執筆してくれました。

南部大会のリーグを探る 昔は三十チームもあった

秋季大会 (中央大会予選会)

七六年度船橋市野球協会の傘下に入り学童部設立、夏に結成記念大会開催、秋に中央大会、この代表を決めるのが秋季大会の嚆矢である。はじめ南部は、中央ブロックと称し、若松ヤングーズ、若潮スワローズ、桜ヶ丘ピクトリー、高根パワーズ、若駒ウィーズの五チームで予選を行い、若潮が優勝して中央大会への代表となった。

アミノゴ、金杉ツヤマーズ、みどり台コスモス、清海ファイターズ、FTJ、以後、浜町フレンズ、佼成船橋、西高根ラッキーズ、高根ヤングース、海神スパローズ、南本町ピーバース、ひまわりキラーズ、船橋ベアーズ、アイリスジュニアと参加(西海ドラゴンズは九〇年度に加盟、以後新加盟チームはなし)

特筆されるのは若潮スワローズが第一回大会より四連覇、各チームの優勝回数は下表を参照されし、今秋は三六回大会を迎える。

Aリーグ戦

八〇年度、金杉台団地集会所に於いて総会を開催、席上、リーグ戦を行うことを満場一致で決定、主旨は南部支部のチーム

同士の交流と教育的見地から勝敗は別にして全員出場、それにグラウンドのないチームに提供しようということから二チームが参加した。

テストリーグのため、全総当り、二三一試合も消化出来る訳がないので優勝制度はなしということにした。でも三分の一の七四試合消化、一〇試合消化したのが金杉台ジュニアシーダース、夏見台アタックス、金杉ツヤマーズだった。因みに夏見パワーズは八試合消化して全勝と記録に残っている。

終了後反省会を行い、次年度より紅白リーグに区分し、秋に紅白の一、二位によるプレーオフを行うことに決定した。

第一回リーグ戦は若潮スワローズが優勝、準優勝は高根ハンターズ、三位は高根パワーズと高根ヤングース(若潮以外は廃部・合併となってしまうのは寂しい限りである。)

B・Cリーグ戦

Aリーグ戦に遅れること二年、Bリーグも実施しようということになっ

たが時期尚早だという意見が多くトーナメント大会とした。

八三年五月、若潮集会所に於いて抽選会を行いB一五、C五チームが参加、参加費は五〇〇円とした。五月二十八日、高瀬で記念すべき開会式を行ったが途中大雨になり、全員が濡れとなった思いがあつた。当時、筆者が支部長であつた。

優勝は若松ヤングーズ、それから四年後、リーグ戦に移行したのを機にCリーグ戦を新設したのである。第一回Bリーグ戦の優勝は宮本ピーバース、Cリーグ戦優勝は船橋ベアーズ(注)船橋ベアーズは二年後、FTJと合併した。

船橋警察署長杯

八六年、東、北部支部による船橋東警察署長杯が開催されたのを聞いて次の年、当時西、南部の支部長であつた小笠原定彦、柄田一夫両氏とともに船橋署を訪れ大会をお願いしたところ二つ返事で快諾された。少年防犯課のスローガンでもある「良い子を育て、非行を防ぐタツチヤング活動」

の一環として、開会式の署長の挨拶は「少年野球もルールがあるように、社会にもルールがあります。横断歩道は信号が青になつてから渡りましょう。親や先生の言うことを良く聞き、早起き、友達と仲良く、好き嫌いなくなんでも食べ、良く学び、良く遊び元気な子供に育ちましょう」

参加賞は「図書券」。さすが警察である。文武両道を訓辞する。入場行進は圧巻で全国レベルの法田中吹奏楽部の演奏、これは大好評である。なおBリーグ大会は結成一〇周年を機に新設された。(宮本ピーバース 荒井義一)

南部支部各大会優勝一覧表

チーム名	秋季大会	警察杯(A)	Aリーグ戦	Bリーグ戦	Cリーグ戦	合計	備考
夏見台アタックス	8	11	4	4	8	35	
宮本ピーバース	6	3	9	6	7	31	
海神スパローズ	4	5	6	5	6	26	
夏見パワーズ	6	2	3	5	2	18	
若潮スワローズ	5	1	1	1		8	
金杉ジュニアシーダース	1	2	1	4		8	
緑台グリーンイーグル	3	1	1			5	合併
西海ドラゴンズ	1		2			3	
若松ヤングース			1	1		2	
夏見ファイターズ	1			1		2	廃部
FTJ				1		1	
南本町ピーバース			1			1	廃部
高根パワーズ			1			1	合併
船橋ベアーズ					1	1	合併
	35	25	30	28	24	142	